



災害時はお互い様

マンションと地域のつながりを考える

一般社団法人減災ラボ 代表理事

鈴木光



減災アトリエ 主宰
総務省消防庁防災図上訓練指導員/工学院大学客員研究員

index

1. 震災時のマンションの被災

2. マンション自己紹介

3. マンション井戸端会議



index

1. 震災時のマンションの被災

2. マンション自己紹介

3. マンション井戸端会議



はじめに・・・

いざという時の

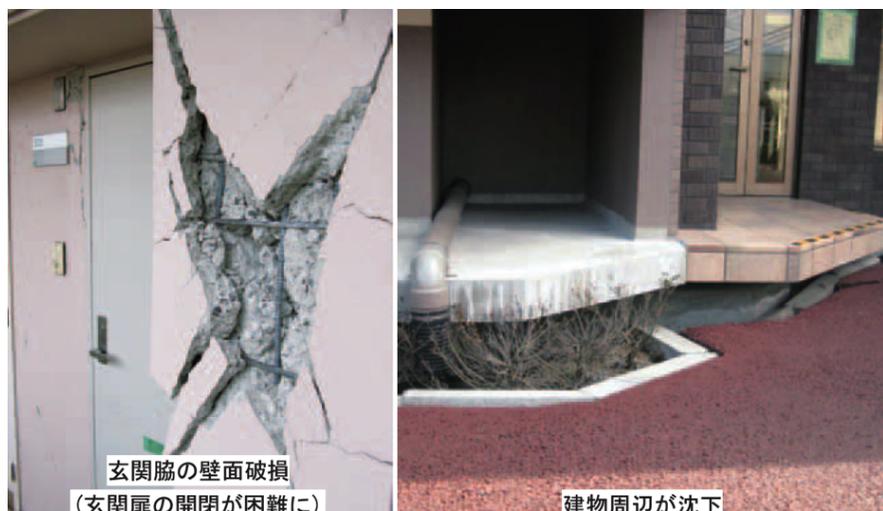
マンション同士

マンションと地域

の「助け合い」は必要でしょうか？



東日本大震災時のマンション被害



東日本大震災時のマンション被害



東日本大震災時のマンション被害

●建物被害

- ・共用廊下やバルコニーなどの非耐力壁の損傷
- ・高架水槽、受水槽などの外部部材の破損
- ・敷地内のアスファルト舗装の沈下、配管の損傷

●ライフライン

- ・電気 3日間
- ・都市ガス 1ヶ月
- ・水道 1週間

●生活への影響

- ・ライフライン停止による水、食料の調達・運搬、高層階からの避難困難
- ・断水、エレベーター停止により、水の入手・運搬が困難（特に高齢者）
- ・通信手段の途絶により、災害情報の入手に苦慮

災害時に普段の交流が活かした事例

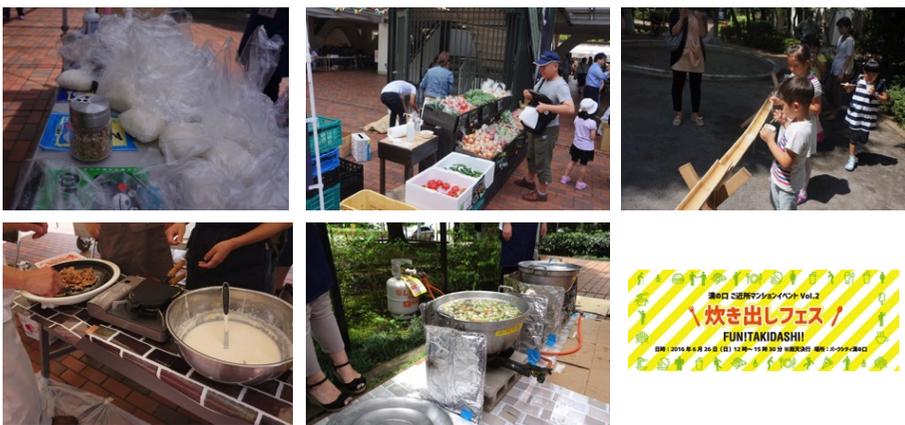
長町街苑パークマンション（仙台市太白区）平成元年築 229戸

- ・近隣の指定避難所は避難者が溢れ入れる状態ではなく、急遽マンション2階集会室、1階ロビーを自主避難所とし、1階防災センターを災害対策拠点とした。
- ・指定避難所に、高校生・大学生等3～4名をボランティアとして派遣した。
- ・マンション内に自主避難所を設置したことを連合町内会長に報告すると、その日のうちに連合会からバナナと牛乳約300食分が届けられた。
- ・マンション住民の勤務先関係から届いた支援物資を近隣へも提供した。
- ・マンションが築23年ということで、経験豊富なリタイヤ組の居住者（元市の職員、教職員等の経験）が多くいたことが、円滑な活動に効果をあげた。

平常時に普段の交流が活きた事例

溝の口近隣3マンション合同の炊き出し祭り

パークシティ（築34年）、メイフェア（築17年）、タワー&パークス（築10年）



パークシティと同じ小学校の学区の代表的な大型マンション



index

1. 震災時のマンションの被災

2. マンション自己紹介

3. マンション井戸端会議

マンションの自己紹介をしてみませんか？

マンション同士、地域との助け合いを考える前に、お互いのマンションの特徴をわかっていたほうが、

「助けて！」「大丈夫ですか？」が、いいやすいですね。

マンションの自己紹介 手順①特徴

地図にマンションの位置をシールではります。

●築年数

10年未満	赤色	●
11～20年	黄色	●
21～30年	緑色	●
31年以上	青色	●

●戸数

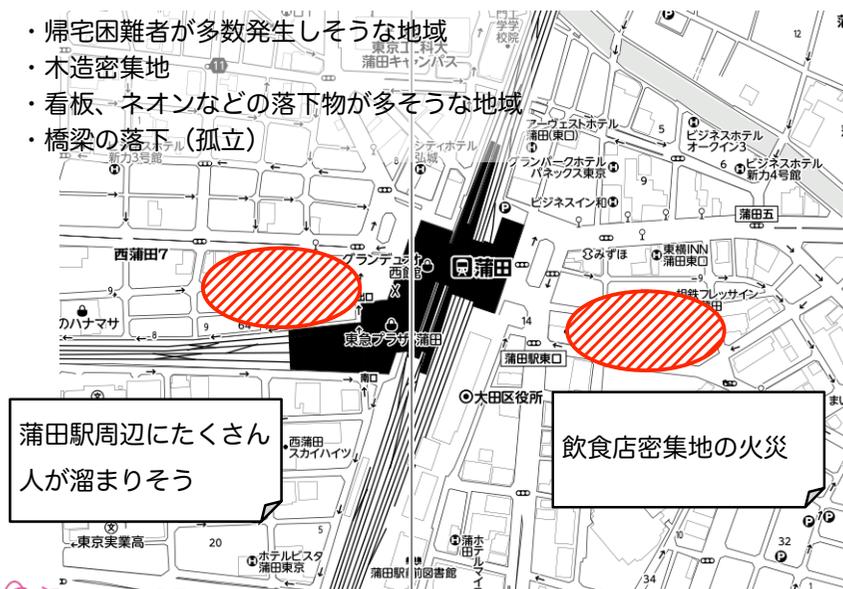
100戸未満 (小円)	100～300戸 (中円)	300戸以上 (大円)
●	●	●

●階数

円の中に手書き (15階→15)

地域の災害時のイメージ

- ・帰宅困難者が多数発生しそうな地域
- ・木造密集地
- ・看板、ネオンなどの落下物が多そうな地域
- ・橋梁の落下(孤立)



マンションの自己紹介 手順②年齢構成

●年齢構成を4つにわけて考える

- 子育て世代 (目安30～40代)
- 働き世代 (目安40～50代)
- 円熟世代 (60代以上)
- 見守り対象

例

子育て世代【桃】 働き世代【赤】 円熟世代【青】 見守り対象【緑】
(1割) + (3割) + (5割) + (1割) = 10

※マジックで色分け



マンションの自己紹介 手順③強みと弱み

「強み」と「弱み」を書き出してみる

例えば

「強み」これは自慢できる！

- ・マンションの中の住みはみんな仲がよい
- ・マンション行事の参加率は高いほうだと思う
- ・防災資機材がそろっている など

「弱み」ここはちょっと心配

- ・空き地があまりない
- ・平日の昼間に災害がおきたら若手がない
- ・地域とあまり連携できていない など

マンションの自己紹介 手順③強みと弱み

マンション名：	
強み	弱み
例) 吹き出しのできる空き地がある 大規模改修を経験していて合意形成のノウハウがある！ 等	例) 機材を使いこなせる若手が少ない エレベーターが止まったら高層階に水を運ぶのが大変 等

井戸端会議

- マンション自己紹介
(場所、階数、年齢構成、特徴など)
- 強み・弱みの紹介
- 地図を囲んでみて気がついたこと
- 他のマンションの活動、組織で知りたいこと

index

1. 震災時のマンションの被災

2. マンション自己紹介

3. マンション井戸端会議

地震から5日経ちました。電気は復活しましたが、物流も混乱・停滞しており、スーパーはまだ品薄で、開いている店舗も多くはありません。

あなたはなんとか自宅の食料などで在宅避難生活を送っています。

最寄りの避難所には食料や生活物資があるそうです。

あなたは、物資をもらいに行きますか？

A 行く

B 行かない

在宅避難をめぐる状況

- 家が津波で流されないだけましと思いき、避難所にいる人に悪くて、家の食べ物が枯渇しても、避難所にいけなかった。ボランティアさんが食事を持って来てくれた時には、久しぶりに人に会ったこともあって嬉しくて泣いてしまった。（一人暮らしの高齢の女性、東日本大震災）
- 避難所のルールをきめて、みんなで協力しあってなんとか生活しているところを、家が無事な人が物資をもらいにきがてら覗かれることが、自宅に土足で入られるようで嫌だった。（避難所運営リーダー、H30年7月水害）
- 避難生活のサポートでギリギリなのに、在宅避難の物資対応まで対応できない。（同上）
- 個別でバラバラ物資をとりこられても対応できないし、家が無事なら避難所の運営も手伝って欲しい。

発表

1 班 2 分

避難所で避難者と在宅避難者とで混乱があるとしたら、
どんなことが起こると思いますか？

まとめ

そろそろ

まあ・・・だろう
まさか・・・なんて

は卒業したい

被災経験者の本音

(断層があるのは知っていたけど)

まあ、
地震は来ないだろう……



まさか、自分の学校が
避難所になるなんて……

居安思危 思則有備 有備無患

安きに居りて危うきを思う

思えばすなわち備えあり

備えあれば患いなし

中国の故事 孔子が編集した史書「春秋」の注釈書「春秋左氏伝」より

おわり

ありがとうございました。

<http://www.gensai-lab.com>